

## 第5章 推進体制・進行管理

### 1 関係機関等との連携

文化振興において、国や県、市町村、文化施設、文化芸術団体といった、従来からの文化振興を主目的とする組織だけでなく、教育、福祉、まちづくり、観光や産業といった広範な分野との連携も不可欠です。

このため、県民をはじめ、文化施設、文化芸術団体、NPO や企業などの多様な主体との交流や連携を強化し、国や県、市町村で文化芸術に関連する施策を展開する関係機関等と補完しあいながら、各種施策等を推進します。

本県の文化芸術活動の振興、「ちば文化」の創造のために、各々に期待される役割は次のように考えることができます。

#### (1) 県民

「ちば文化」を創造し、推進していく「主役」は県民です。県民一人ひとりが文化芸術活動に主体的に参加するとともに、地域の文化芸術活動をサポートすることにより、「ちば文化」がますます発展していくことが期待されます。

#### (2) 芸術家、文化芸術団体等

芸術家には、文化芸術の担い手としての役割が期待されます。

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、文化芸術団体やNPO など、県内各地の団体は、文化芸術活動の主体として、地域のさまざまな団体とも交流し、地域の文化芸術を担っていくことが期待されます。

また、千葉県無形民俗文化財連絡協議会は、その加盟団体のみならず、未加盟の郷土芸能保存団体やまわりをとりまく関係者・関係機関との交流を推進し、地域における郷土芸能の積極的な保存・伝承・後継者の育成を進めていくことが期待されます。

#### (3) 文化振興関連の法人等

公益財団法人千葉県文化振興財団など文化振興を目的として設立された法人やNPO等は、各種文化事業の企画や文化活動への支援、文化芸術の発信拠点としての文化施設の管理運営業務などを通して、文化芸術の振興を図っており、専門性・継続性を生かし、地域の特性に合った活動が期待されます。

#### (4) 文化施設等（文化会館、美術館・博物館、図書館、公民館等）

文化施設は、優れた文化芸術の提供や創造の拠点として、関係機関のネットワーク構築、人材育成等の役割が期待されます。

#### (5) 学校

小・中学校や高等学校等の学校は、子どもたちが学ぶ場であり、人間性や感受性を育

む場として様々な文化芸術にふれる機会の提供が期待されます。

また、学校は、文化芸術についての基本的な知識・技能等を培う場でもあり、本県の文化芸術活動の裾野を拡大するうえで重要な役割を果たしています。学校において子どもたちが多彩な文化芸術にふれる機会を一層充実させていくことが必要です。

#### (6) 大学

大学は、教育機関であると同時に研究機関として、多くの人材や研究成果、施設を有しています。文化芸術活動の主導的な役割を担うほか、地域の文化振興についての助言・提案や情報提供等を行うなどの役割が期待されます。

#### (7) 企業等

企業は、地域社会を構成する一員として、文化芸術活動への支援や、文化資源の活用等を通じて地域の活性化に貢献していくことが期待されます。

#### (8) 市町村

市町村は、住民の身近に位置する基礎的な自治体として、それぞれの地域の特性を生かしながら、地域の文化振興の主たる役割を担うことが期待されることから、域内の文化芸術団体や学校、県、他の市町村とも連携を取りながら、地域での文化芸術活動を推進します。

#### (9) 県

県は、文化芸術振興基本法及び国の基本方針を踏まえ、県の総合計画及び本計画に基づき、様々な主体と連携しながら、本県の文化振興を総合的に推進します。また、観光等様々な分野等での文化芸術の活用、文化芸術を生かしたまちづくりや地域の活性化にも取り組んでいきます。

## 2 計画の進捗状況の評価等

本計画の進捗状況については、基本目標及び施策の柱ごとに、毎年度、定量的・定性的に評価を行うとともに、有識者会議等の第三者の視点からの意見を聴きます。そして、その結果を公表するとともに、施策の改善等に生かしていきます。

また、県内の文化芸術活動の状況を示す、県民に分かりやすい各種項目について、定期的・継続的に調査・把握します。